

令和5年度  
第34回全九州高等学校選抜ヨット選手権大会

# 監督主将会議・競技運営説明会

Briefing

# Race Officials

---

## Organizing Authority

竹下勝明 熊本県高体連ヨット専門委員長

中野真澄 熊本県セーリング連盟

## Protest Chair

岡部 幸司 JSAF National Judge A

## Technical Committee

佐藤 誠 国際420級 Maintenance Measurer

## Race Officer

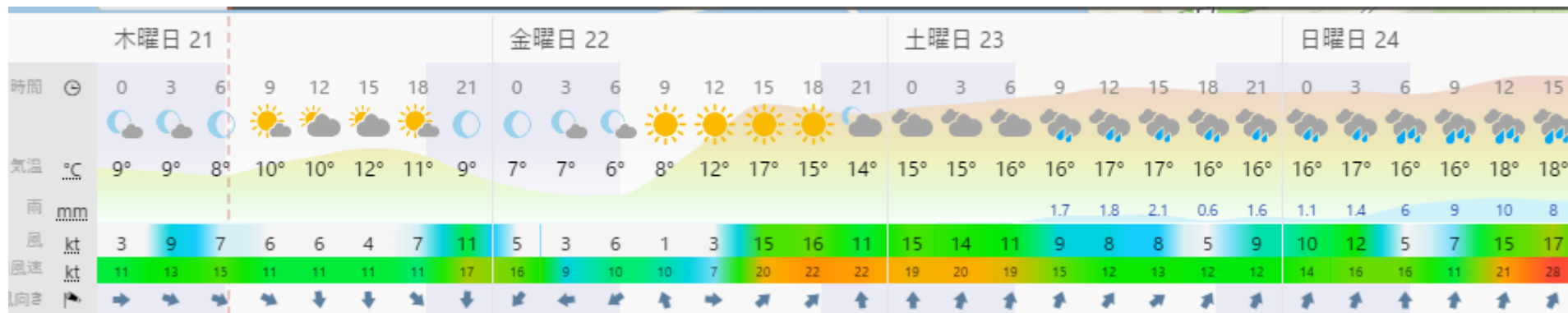
伊藤 大貴 JSAF National Race Officer

# Weather

## 大会期間中の天気

日時	天気	気温	降水確率	降水量
03月21日(木)	晴	14℃ 2℃	10%	0mm
03月22日(金)	晴時々曇	20℃ 2℃	20%	0mm
03月23日(土)	曇のち雨	19℃ 14℃	70%	2mm
03月24日(日)	雨	18℃ 16℃	100%	92mm

出展: tenki.jp



出展: windy.com

# レース運営方針

# SI3: 選手とのコミュニケーション

---

▶基本的な考え方:

『安全』を最優先とした『公正』『公平』で、『選手に判り易い』レース

『安全』……………レースオフィシャルズ、支援チーム全体での安全確保

『公正』……………規則はもとより、World Sailing Standardに準拠した運営

『公平』……………ターゲット・タイムに対応した十分な長さのレグ設定

『選手に判り易い』……………ディリー・ブリーフィングを通じた、選手・監督とコミッティとの意思疎通促進。  
RRS.orgやLINEオープンチャットを活用した情報展開。

レースオフィシャルズの行動だけで達成できるものではありません。

選手・監督、全ての支援者のご協力をお願いいたします。

# 帆走指示書の補足説明

以下はいかなる規則も変更していません。  
このとおりとならなくても、艇からのプロテストの根拠とはなりません。

# SI3: 選手とのコミュニケーション

---

## SI3: 選手とのコミュニケーション

- ・RRS.orgのシステムを使用して、オンライン上で選手・支援者に情報を展開します。
- ・サポートツールとして、LINEオープンチャットを使用します。  
この情報展開は参考情報です。(指示3.3)

RRS.org大会公式掲示板:

<https://www.racingrulesofsailing.org/documents/7614/event>

## LINEオープンチャット

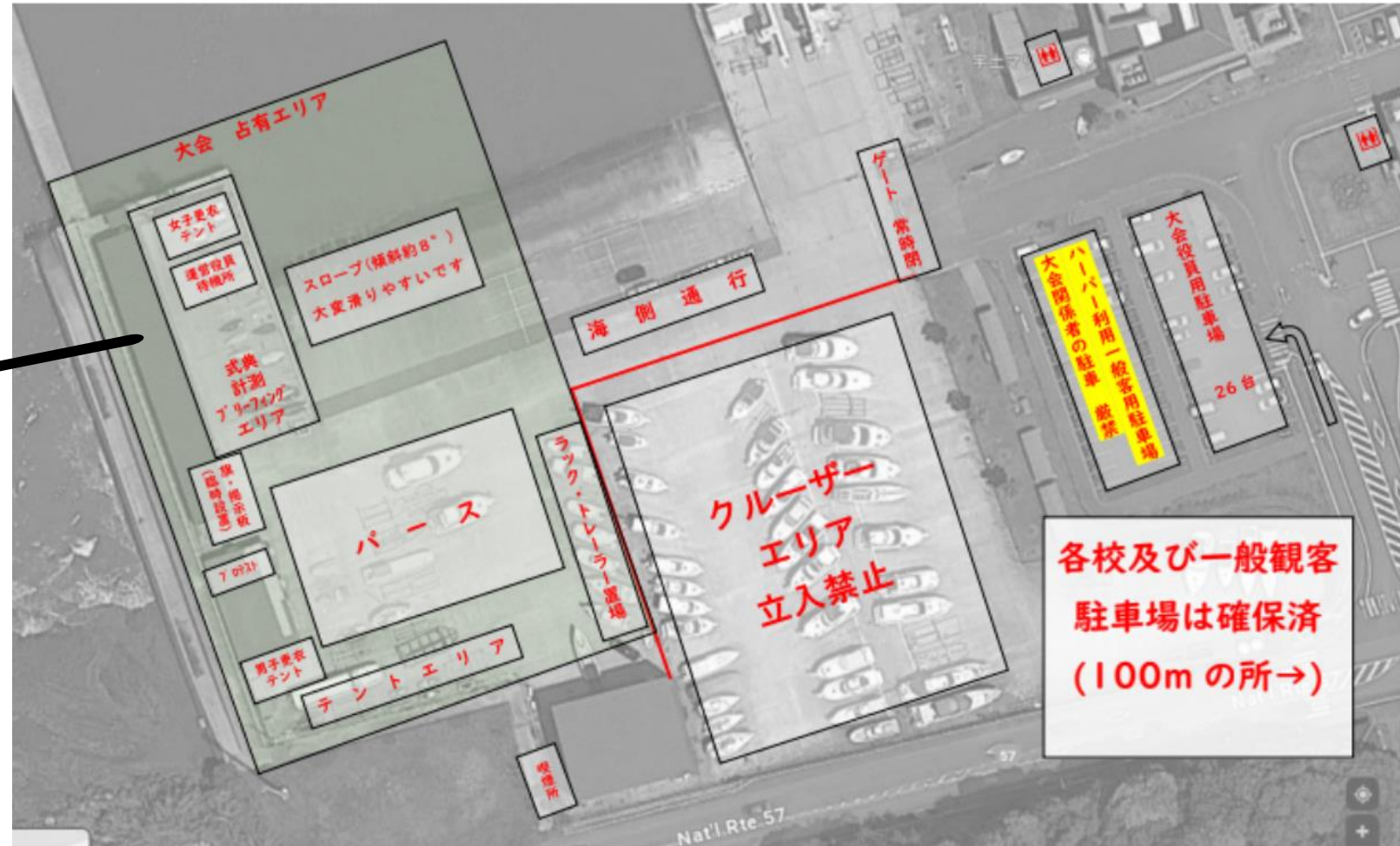
右のQRコードからアクセスできます。  
(参加コードはお問い合わせください。)



# SI5:陸上で発せられる信号

SI5.1:陸上で発せられる信号は、レースオフィス前のポールに掲揚される。  
以下の会場図をご参照ください。

フラッグ掲揚時





# SI9:レースエリア

## 【レースエリアの注意点】

- ①潮の満ち引きによって水深が浅くなるエリアがございます。  
出着艇の際は極力、沖側を帆走してください。
- ②海苔網が設置されているエリアがございます。  
近くを帆走しないようにしてください。



# SI11:マーク

---

今大会では以下マークを使用します。  
LR/LG(風上-風下コース)の場合、すべてのマークがドローンマークになります。

## シグナル/フィニッシュ



## ピンボート



# SI11:マーク

今大会では以下マークを使用します。  
LR/LG(風上-風下コース)の場合、すべてのマークがドローンマークになります。

回航マーク



変更マーク



ドローンマーク



# SI11:マーク

---

## 【ドローンマークについて】

今大会では、一部マークでドローンマークを使用します。

トラペゾイドコース:マーク1、マーク3S/3P

風上一風下コース:マーク1、マーク4S/4P

## (特徴)

GPS座標を指定することで、アンカリングせずその位置を維持します。

位置を維持するために、レース中はプロペラが駆動しております。

## (注意点)

- ①レース中は水中で常時プロペラが駆動しております。  
万が一、ドローンマーク付近で落水した場合は、マークをつかまさないでください。  
ドローンマークのプロペラにより、負傷する場合があります。

# SI22. オフィシャル・ボートの標識

- ・ オフィシャル・ボートには以下の艇を使用します。

配置	船名	タイプ
シグナル・ボート	ミックル	HardBoat
ピン・ボート&4マーク	ドリーム (AVON-40HP)	Rib
1マーク	ヒックル	HardBoat
2マーク	FR-23	HardBoat
フィニッシュ・ボート&3マーク	網田漁協	HardBoat
ジュリー・ボート1	モックル (AVON-90HP)	Rib
ジュリー・ボート2	くまもん号 (50HP)	Rib
メジャラー・ボート	VSR5.8R	Rib

- ・ トイレは2マークにのみ備え付けられています。

# 競技者・支援者へのお願い

以下はいかなる規則も変更していません。  
このとおりとならなくても、艇からのプロテストの根拠とはなりません。

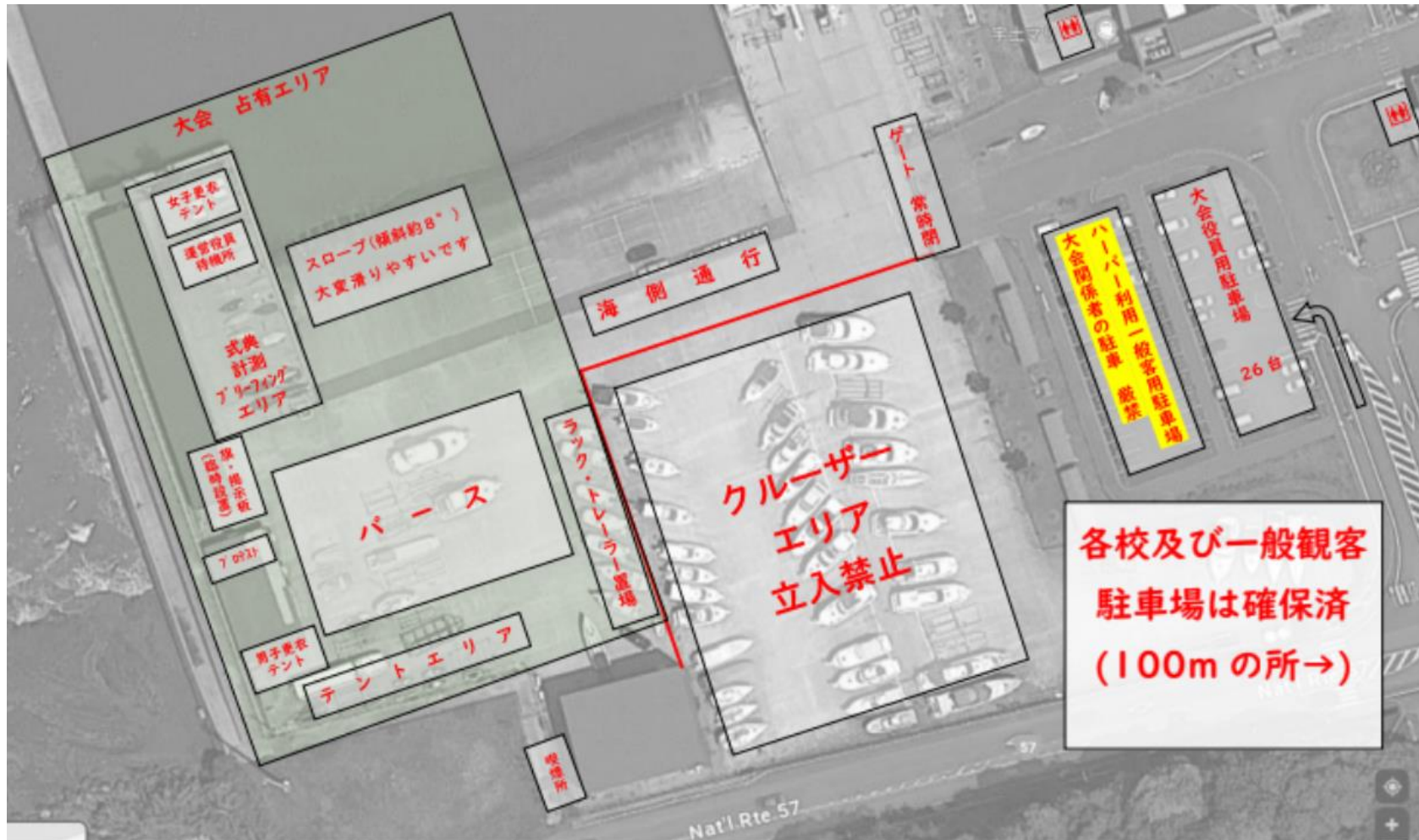
# SI23.支援チーム

---

- ①支援艇を出艇させるチームは、SI23に記載の内容をご確認ください。  
一特に船外機艇のドライバーの方は、キルコード装着を遵守ください。
  
- ②支援艇を出していないチームもあります。  
→支援艇を出していないチームの艇が危険な状態にあった場合、  
乗員の安全を最優先に必要な救助活動を行って下さい。
  
- ③救助活動に従事する際は、
  - 1)乗員の安全確保をお願いします。
  - 2)乗員の安全が懸念される場合、または乗員から救助要請があった場合  
⇒速やかな乗員救助をお願いします。

# 大会期間中の注意点に関して

- ①注文弁当以外のごみは、各校でお持ち帰りください。大会本部では処分しません。
- ②大会期間中、宇土マリーナを利用する一般の方も多いです。事故なきよう、ご配慮ください。





# レース委員会への質疑

規則に関する口頭での質問には回答できません。

# テクニカル委員会への質疑

規則に関する口頭での質問には回答できません。

# プロテスト委員会への質疑

規則に関する口頭での質問には回答できません。